

高Dk/低Dfファイラー

●特徴

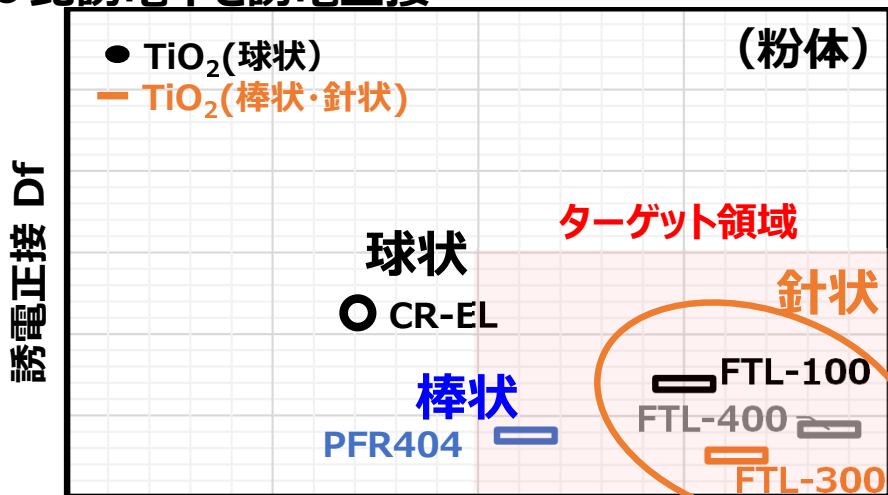
- フィラーの形状（アスペクト比、粒径 etc.）の調整により、誘電正接（Df）を低く維持したまま、高い比誘電率（Dk）を実現可能にしました。
- 高周波通信の分野で用いられる低Df樹脂の誘電正接を上げることなく、誘電率を所望に調整することができます。

●ラインナップ

銘柄	CR-EL	PFR404	FTL-100	FTL-300	FTL-400
形状	球状	棒状	針状	針状	針状
粒子径(μm)	0.25	W= 0.7 L= 3	W= 0.1 L= 1	W= 0.4 L= 5	W= 0.5 L= 10
アスペクト比	—	4	10	12	20
SEM					

結晶形はいずれもルチル型

●比誘電率と誘電正接



<評価方法>

測定装置：AET社製空洞共振器
(AETでの委託測定)

測定原理：空洞共振法
(JIS-C2565準拠)

測定周波数：10 GHz

比誘電率・誘電正接カスタマイズ可

●比誘電率 (Dk)

→ アスペクト比調整

●誘電正接 (Df)

→ 水分量低減(疎水化処理)

ポリアミド樹脂への練り込み

比誘電率 Dk

<評価方法>

測定装置：AET社製空洞共振器
(AETでの委託測定)

測定原理：空洞共振法
(JIS-C2565準拠)

測定周波数：28 GHz

球状フィラーに比べて針状は、
低充填率で高誘電率

